

# 月刊 新翔タイムズ

第57号  
新翔タイムズ  
編集室  
発行・熊野新聞社

## 第7回入学式

# 「一日一日を大切に」

## 新入生代表、岸下ひかるさん決意



9日、平成25年度入学式が行われ、151人(男子72人・女子79人)が新翔高校での新しい生活のスタートを切った。国歌斉唱、入学生呼名に続き、竹村貢校長が「一日も早く本校の生活になじみ、勉強やクラブ活動、学校行事、生徒会活動などに全力で取り組み、充実した学校生活を送って自己の可能性を拡大してほしい」と述べ、「基本的な生活習慣を確立すること、3年後の進路選択のために学習習慣を確立すること、高校3年間の過ごし方で大きく人生が変わるといふこと。そのため自分自身の一生を支える、柔軟でたくましい精神力と体力を作り上げる。この重要な高校時代を

1学年は4月12日から16日の午後、新入生研修を行った。これは、高校生活を順調にスタートし、より充実した高校生活を送るため、同校や学習の仕方等を学ぶものである。初日は総合学科の特徴と校歌を学び、クラスメートとインタビューをして交流を深めた。2日目は進路や校則について、また、それぞれの教科の学習の仕方等を学んだ。3日目は制服身だしなみセミナーを行ない、制服の黄金比率について学んだ後、学年レクリエーションで大縄跳びに挑戦、2組が優勝した。

## 充実した高校生活を —新入生研修—

# 「夢に向かって努力を」

## 始業式 新任式 竹村貢校長が式辞



平成25年度1学期始業式が8日に行われた。竹村貢校長より「3年生はこの式辞の後、本年度着就職、進学に臨む最終学年、残された時間はあまりないので時間を大切にしたい。2年生は選

- り。敬称略。
- 畑上和郎 (英語)
- 角倉早紀 (数学)
- 近藤亜沙子 (社会)
- 藪 奈美 (保健体育)
- 丸山健太 (商業)
- 得津翔平 (保健体育)
- 金丸 央 (商業)
- 小池佑介 (社会)
- 本多亜佑華 (美術)

## 9人が退職・転出 離任式で思い出語る

新翔高校では5日に平成24年度末の人事異動で退職・転出する先生の離任式があった。竹村校長より先生の紹介があり、離任式に出席した大江、岡本の2人の先生から思い出話や、新翔生に期待することなどが語られた。退職・転出した先生は



次の通り。敬称略。  
玉石収一郎 (退職)  
濱田純子 (三重県いなべ総合学園高校へ)  
恵須川淳悟 (新宮定へ)  
大江晃司 (有田中央へ)  
岡本剛典 (耐久へ)  
片山隆博 (耐久へ)  
脊古みどり (退職)  
岡本憲治 (はまゆう支援学校へ)

## 緊張気味の1年生 先輩と「対面式」



10日に対面式が行われ、9日に入学式を終えた151人の1年生が2、3年の先輩と初めて顔を合わせた。やや緊張気味の新生生だったが、新入生代表・坂地将馬君から「勉強とクラブをしっかりとやって、文武両道を目指します」とあいさつがあった。それに対し、在校生代表・生徒会長の奥休場奨君が「勉強だけでなく、クラブだけでもなく、両方をしっかりとやってください。不安や悩みがあれば先輩や先生方に相談してください」とアドバイスをした。

## バスケットボール部

現在バスケットボール部は新入生が加入し、男子25人(3年7人、2年7人、1年11人)、女子12人(3年5人、2年6人、1年1人)で活動しており、毎日の練習や試合、遠征などにおいて技術を磨き、精神面を鍛え、総体に



## クラブ紹介

新翔高校は、総合学科(教養、地域文化、建設技術、ビジネス、情報)5系列に衣替えしてから4回目の卒業生を出した。同校では、1年次の「産業社会と人間」、2、3年次の「総合学習」の中で職業観・勤労観育成のためのさまざまな取り組みをしている。これらの授業は、自己の生き方を探求し、社会の一員として豊かな社会を築く態度を育て、学習への意識と社会性の向上を図ること

## 平成24年度進路状況

新翔高校は、総合学科(教養、地域文化、建設技術、ビジネス、情報)5系列に衣替えしてから4回目の卒業生を出した。同校では、1年次の「産業社会と人間」、2、3年次の「総合学習」の中で職業観・勤労観育成のためのさまざまな取り組みをしている。これらの授業は、自己の生き方を探求し、社会の一員として豊かな社会を築く態度を育て、学習への意識と社会性の向上を図ること

## 畑上和郎先生



初めまして。串本古座高校から転任してきまして英語科の畑上和郎です。昨年50歳の大会に乗り、中年街道まっしぐらといつか「中高校」とい